

「体育大会や文化祭も終わりましたね！」

2学期の2大イベントである、体育大会や文化祭も終わり、1年生は、太陽の家への訪問や初めての総合学科発表会に向けた準備に取り組みます。2年生は待ちに待った修学旅行の準備が始まります。3年生は、就職試験の大詰めを迎え、進学希望者は入試が始まります。世の中に目を向けると、街はハロインで賑っています。それが終わると、クリスマスイブを心待ちにしている人も多いのでは？



中国唐でも、こんなナイスガイのお話があります。玄宗皇帝が、楊貴妃と蓮の花を眺めていたときに、「蓮の花の美しさも、このことばを解する花にどうして及ぼうか」と楊貴妃の美しさを花に例えてほめたたえたという故事から来た言葉が、「解語の花」です。

※「解語の花」とは、「ことばを理解する花」ことで、「美人のたとえ」です。

ところで、君たちはどうでしょう。先日の新聞によれば、高校生くらいの年齢の肌は、若くて弱く傷つきやすいそうです。それなのに、毎朝時間ぎりぎりまで、一生懸命に顔に化学物質を塗りたくり、無理におなかを引っ込めて何回もスカートを巻く。そういった自分のしぐさを客観的に、一度よく見て考えてみてほしいのです。きっと自分自身が愚かに見えてくるはずですよ。

「解語の花」とは、美人のたとえです。美しいだけではなく、きちんと物事をわきまえた行動や言動ができる人間が美人と呼ばれています。君たちにも、そうなってほしいのです。

今、着飾ったり、化けたりすることばかりに気をとられない。一流の物を身につけ、人に対して、見掛けだけよく見せようとしても何も伴ってきません。そんな見かけ倒しだけでは、いつかは化けの皮がはがれます。

そんなことよりも、もっと心と頭を鍛錬する時期ではないか。そして、真の一流の人間になりましょう。真の一流の人間とは、ただテストの点数だけが採れることではありません。いかに一流の”心”を身につけるかです。

したがって、頭（知）と心（徳）、体力（体）のバランスが必要で、それを今、身に付ける時期なのです。

日出暘谷・日出総合高校に入学してきた以上、希望に胸を膨らませてきたはずですよ。その希望や夢が叶う前に、途中で挫折した者もいるかもしれません。

しかし、これからの人生の中で、今が一番若い。今やるしかない。やるかやらないかではない。それをいかに成すか。それだけでなんです。